

『大槌町復興支援の会』募金のお願い

2011 年 3 月 23 日

『大槌町復興支援の会』は、今回の東北・関東太平洋岸大震災（東北関東大震災）で甚大な被災を受けた岩手県大槌町復興の支援のため、地域づくり、湧水保全、魚類学、淡水魚保全、海洋研究、環境教育、ジャズ音楽、海づくりなど関連の方（発起人として）を中心に立ち上げられました。1口（1000円）以上で、寄付行為（当座目標は100万円を納入）を行う目的をもつものです。

募金活動を広く周知し進めていきたいと思っています。発起人ご参加いただける方におかれましては、広く周辺にご案内をいただければ幸いです。不明な点は、私宛（TL/Fax:0584-77-3575 森宛；e-mail:smori@gifu-keizai.ac.jp）に御連絡ください。

口座：「大槌町復興支援の会」（オオツチチョウフッコウシエンノカイ）

世話人 森誠一（モリセイイチ）

三菱東京UFJ銀行 普通 桑名支店（店番：536） 口座番号：0081211

当地は潤沢に湧く湧水を基軸にして、古くから湊町として発達してきました。カキ、ホタテやサケなどを中心とする水産業や、また、作家井上ひさし氏の「ひょうこりひょうたん島」のモデルや吉里吉里人の舞台にもなっています。沿岸部には東京大学海洋研究所があり海洋研究の中心地でもあり、湾内のアマモや湧水に生息する淡水型イトヨの研究地としても重要な場所となっています。これまで、こうした自然や歴史・文化、産業を背景に、海づくり大会を始め、いくつもの全国レベルの多岐にわたるシンポジウムから地域学習会などが開催されてきました。

このような長年月をもって培われてきた特徴ある大槌町という郷土が一挙に一掃され、その風土が壊滅的となってしまいました。それは一家においては、家族を包んでいた建物から思い出のアルバムまでが消失するという悲惨な状況といえます。このような事態を鑑みて、今後、大槌町の復興支援の一助として募金活動を行い、町に寄付したいと思っております。

なお、被災されている方に、本案内が回っていましたら申し訳ありません。

森誠一 『大槌町復興支援の会』世話人

連絡先：大垣市北方町5-50 岐阜経済大学地域連携推進センター

TL/Fax:0584-77-3575 森宛

e-mail:smori@gifu-keizai.ac.jp